

網走市子どもの読書活動推進計画

2010－2014

あばしり 子ども読書プランⅡ



自然あふれる豊かな環境のなかで

みんなで・楽しく・どこでも 読書

網 走 市 教 育 委 員 会

はじめに

読書は、子どもたちにとって表現力や創造性を広げ、言葉・文字を覚えるなど多くのことを学びながら、未知の世界や経験したことのない世界を知る計りしれない価値をもっています。

しかし、近年はテレビ、インターネット、携帯電話などの様々な情報メディアの普及によりコミュニケーション不足や家庭での読書習慣の希薄さなどから、読書への興味・関心が薄らぎ、「活字離れ」や「読書離れ」が進み憂慮されています。

平成13年12月に子どもの読書活動を推進し、子どもの健やかな成長に資するための「子ども読書活動の推進に関する法律」が施行されました。

本市におきましては、平成17年に「網走市子どもの読書活動推進計画(あばしり子ども読書プラン)」を策定し、その推進に努めてまいりました。

この間、小学校においては市内全校での学校巡回図書(クリオネ文庫)が実施され、児童館分庫の拡充、図書館における蔵書検索システムの導入、学校図書館の蔵書整備など、プランの基本方針の「どこでも・たのしく・みんなで読書」に基づく、こどもの読書環境の整備や読書活動の着実な推進が図られました。

これらの事業を踏まえ、今後5年間における子どもの読書活動のさらなる推進を目指し「あばしり子ども読書プランⅡ(平成22年度～平成26年度)」を策定いたしました。

このプランでは、第1次プランの理念を継承し、現在行われている活動や事業をさらに展開させ、電子書籍などの新たな思考も加えながら、子どもの読書活動の一層の推進とよりよい読書環境の整備を進めることとしております。

子どもの読書は、保護者や子どもと関わる多くの方々の理解がなければ成果を上げることができません。

大人である私たち一人ひとりが、まず子どもの読書の価値を認識し、家庭・地域・学校・行政などがそれぞれの役割の中で、どこでも・楽しく・みんなで読書ができるよう連携を図りながら、子どもの読書活動の推進に取り組んでいく必要があります。

おわりに、本計画が市民の皆様にも活用され子どもの読書活動に生かされますことを期待するとともに、策定にあたり、ご意見やアンケートへのご協力をいただきました皆様に心からお礼を申し上げはじめの言葉といたします。

平成22年 7月

網走市教育委員会

教育長 木目澤 一三

目 次

第1章 計画の策定にあたって

- | | |
|-------------|---|
| 1. 計画策定の背景 | 1 |
| 2. 計画の基本方針 | 1 |
| 3. 計画の対象 | 2 |
| 4. 計画期間及び評価 | 2 |

第2章 子どもの読書活動の現状

- | | |
|----------------------------|---|
| 1. 読書活動・読書環境等に係るアンケート調査の実施 | 3 |
| 2. 小・中・高校生の読書 | |
| 3. 乳幼児（就学前の子ども）の読書 | 7 |

第3章 第1次子ども読書プラン推進の評価 10

第4章 子どもの読書活動推進のための方策

- | | |
|----------------------------------|----|
| 1. 「みんなで読書」 | 13 |
| ・現状と課題 ・重点的に実施を行う施策 ・具体的な主な取組み内容 | |
| 2. 「楽しく読書」 | 16 |
| ・現状と課題 ・重点的に実施を行う施策 ・具体的な主な取組み内容 | |
| 3. 「どこでも読書」 | 18 |
| ・現状と課題 ・重点的に実施を行う施策 ・具体的な主な取組み内容 | |

参 考 資 料 20

お わ り に 34

第1章 計画の策定にあたって

1. 計画策定の背景

子どもたちの読書は、それぞれの発達段階において、豊かな感性や創造力を豊かにし表現力や読解力を養うなど、子どもが多くのことを身につけるために果たす役割は大変に大きなものがあります。

網走の自然あふれる豊かな環境のなかで、子どもたちが夢や希望を持ち健やかに育っていくことはだれもの願いであり、そのためにもより良い読書への環境整備や読書活動の推進に努めて行くことが必要です。

近年は、多様な通信メディアでの情報の氾濫や、子どもの遊びや娯楽環境の変化などに伴い文字ばなれや読書ばなれが危惧され、OECD（経済開発協力機構）が行った「国際学習到達度調査」での2003年の調査では、日本の「読解力」は2000年調査時の8位から14位に後退し、さらに2006年の調査では15位と低迷が続き、日本の子どもたちの読書離れが大きく影響しているともいわれています。

このような状況の中で、平成13年12月には「子どもの読書活動の推進に関する法律」が施行され、また、平成17年には「文字・活字文化振興法」が制定されるなど国をあげての取組みが実施され、北海道においては、昨年には第2次の「北の読書プラン」が新たに策定されました。

網走市においても、平成17年7月に「子どもの読書活動を推進する計画」として『あばしり子ども読書プラン』を策定し、子どもの読書活動の推進や読書環境の整備などを行ってきたところですが、平成21年度をもって計画期間が満了となったことから、これまでの評価やアンケート調査などによる現状の読書状況をふまえて見直しを行い、子どもたちの読書環境の充実や読書活動の一層の推進を図るため『あばしり子ども読書プランⅡ』を策定しました。

2. 計画の基本方針

この計画は、次の3つの柱により子どもの読書活動の推進や読書環境の整備を行うことを目指します。

(1) 「みんなで読書」

子どもの読書は家庭や周囲の環境が大きく影響を及ぼすと言われ、子どもと共に周囲の人が一緒に読書することにより、読書への興味や関心が芽生え育ちます。

市民みんなが子どもの読書を支援推進するという意識を持ち、家庭や地域を中心に、大人も子どもも「みんなで読書」ができる環境づくりを図ります。

(2) 「楽しく読書」

子どもは本との出会いから言葉や文字を学び、また、感性や表現力などを培うと言われ、読書は子どもに多くのことを教えてくれます。

子どもの本との出会いや本とふれあう様々な機会の充実により、「楽しく読書」
ができる読書活動の推進を図ります。

(3)「どこでも読書」

子どもの日常生活のなかで、ここにもあそこにも本がある、いつも手の届くところに本がある子どもへの環境づくりが望まれます。

地域や保育園・幼稚園、また学校や図書館など、身近な場所で「どこでも読書」
ができる環境をつくり、子どもの読書機会の充実を図ります。

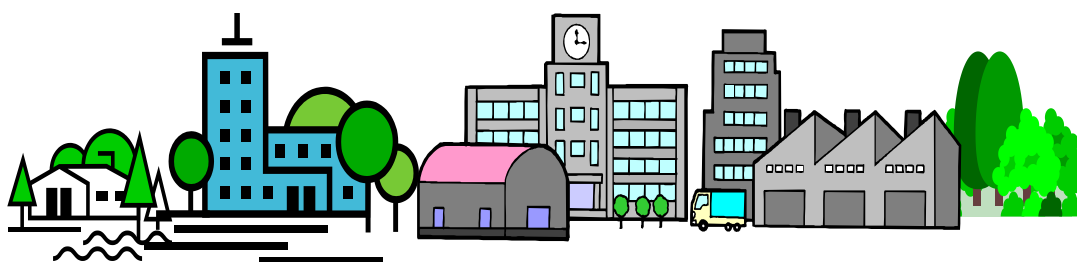
3. 計画の対象

この計画の対象は、主に0歳から18歳までの子どもを対象とします。

また、保護者をはじめ、市民ボランティアや地域住民、保育園・幼稚園・学校のほか子どもの読書活動に関係する各行政機関や団体等が対象となります。

4. 計画期間

この計画の計画期間は、平成22年度から平成26年度までの5年間の計画とし、必要に応じて計画の見直しを行うものとします。



第2章 子どもの読書活動の現状

1. 読書活動・読書環境等に係るアンケート調査の実施

「あばしり子ども読書プランⅡ」の策定にあたり、読書活動の現状などを把握するためのアンケート調査を実施しました。

アンケートは、5年前に第1次のプラン策定にあたり実施したアンケートと原則おなじ内容、おなじ個所で調査を行い、計画の事業効果などを測るものとししました。

調査日は平成22年2月1日～2月5日とし、乳幼児定期健診時の保護者、幼稚園・保育園に通園している子どもの保護者、また、小学生・中学生・高校生では学校を通じて児童や生徒への調査を行いました。

アンケート内容は、読書量、読書環境、読書趣向、読書の位置付などに視点を置いた調査に併せ、高校生には新メディア（インターネット・携帯web）での読書についての項目を加えました。

アンケート回答数 3,231名。（詳細は資料編で掲載）

（乳幼児の保護者264名、小学生1,895名、中学生495名、高校生577名。

乳幼児の保護者及び高校生は一部抽出で実施しています。）

この他に、幼稚園・保育園の11園での読書に関する実態アンケートを実施しました。

2. 小・中・高校生の読書

（1）読書量について

今回のアンケート調査の結果では、網走市の子どもたちの1ヶ月の読書量は小学生では5.4冊、中学生は4.5冊、高校生は2.0冊となりました。

全国の学校を対象とした第55回読書調査（2009年5月）では、1ヶ月の読書量は、小学生は8.6冊、中学生は3.7冊、高校生は1.7冊となり、全国調査との比較では、小学生では3.2冊全国より下回っている結果となり、中学生では0.8冊、高校生では0.3冊それぞれ上回っている結果となっています。

また、前回（5年前）の当市での調査との比較では、小学生では0.4冊、中学生では0.2冊、高校生では2.7冊、それぞれ読書量が減少している結果となりました。

読書量(1ヶ月に読んだ読書数)

	小学生	中学生	高校生
今回(2010.2月)	5.4冊	4.5冊	2.0冊
全国(2009.5月)	8.6冊	3.7冊	1.7冊
前回(5年前)	5.8冊	4.7冊	4.7冊

不読者数（調査時点での1ヶ月で読んだ本が0冊）については、小学生8.2%、中学生14.7%、高校生では45.4%の割合で不読者となっており、全国平均と比較

した不読者数の割合は、小学生・中学生が共に上回っている状態となっており、高校生においては全国平均をわずかに（1.6%）下回っていますが約半数の割合で不読者となっています。

また、5年前の当市での調査との比較では、小学生では3.8%、中学生では8.3%それぞれ下回り不読者数が減少した結果となりましたが、高校生では前回の調査より不読者数が大きく増える結果となっています。

不読者数(1ヶ月に読んだ本が0冊)

	小学生	中学生	高校生
今回(2010.2月)	8.2%	14.7%	45.4%
全国(2009.5月)	5.4%	13.2%	47.0%
前回(5年前)	12.0%	23.0%	15.0%

(2) 読書環境について

「主にどこで本を読みますか」については、各世代ともに「自宅」での読書が主な場所となり、小学生では2番目に「学校又は学校図書館」、次いで「市の図書館」の順となっています。

中学生は自宅以外では「学校や学校図書館」「友達の家」「市の図書館」の順、高校生においては「バスや汽車の中」「学校や学校図書館」「市の図書館」の順となり、特に中・高校生では自宅以外での読書が少ない状況がうかがえます。

「主にどこで本を読みますか」

(複数回答による率/回答者数)

	今回(H22.2月)調査			前回(H16.12月)調査		
	小学生	中学生	高校生	小学生	中学生	高校生
自分の家	76.7%	90.7%	91.2%	80.4%	25.7%	74.2%
学校や学校図書館	53.9%	14.3%	12.1%	57.7%	11.5%	9.5%
友達の家	11.4%	13.1%	7.1%	19.8%	7.0%	10.8%
市の図書館	25.8%	6.5%	8.3%	36.5%	0.6%	7.9%
児童館・分庫	10.7%	0.2%	0.2%	15.2%	2.4%	0.3%
バスや汽車の中	4.2%	5.5%	13.9%	11.2%	6.3%	8.9%
その他	5.6%	5.3%	5.0%	13.0%	79.9%	11.6%

(3) 読書の趣向について

「本をどのようにして選びますか」では、調査結果は前回（5年前）の調査とほぼ同じ傾向となっており、小学生では約半数が書店を利用し、次いで「教室にある本」「学校図書館」「市の図書館」といずれも30%～45%の利用となり多様な場所で本を選択していることがうかがえ、特に「教室にある本を選んで読む」が45.5%

と高い数値となっており、学校巡回図書事業「クリオネ文庫」の成果として現れています。

中学生・高校生では、「書店利用」が70%台となり、続いて中学生では「友人などに薦められた」「学校図書館」「市の図書館」の順となっていますが、書店以外においては10～20%台と低い利用割合になっています。

高校生では、「友人などに薦められた」が2位となり35.4%と高い数字を示し、以下「テレビ・ラジオでの紹介」「市の図書館」「学校図書館」の順で、学校図書館の利用率が前回調査から5.6%程伸びていますが利用率は10.4%と少ない状況となっています。

「本をどのようにして選びますか」

(複数回答による率/回答者数)

	今回(H22.2月)調査			前回(H16.12月)調査		
	小学生	中学生	高校生	小学生	中学生	高校生
書店で選んで買って読む	50.4%	71.1%	71.2%	53.2%	61.5%	54.0%
学校や学校図書館にある本を選ぶ	38.2%	13.5%	10.4%	43.8%	8.1%	4.8%
教室にある本を選んで読む	45.5%	1.0%	0.9%	39.7%	0.9%	0.2%
市の図書館や分庫に行き行って選び借りる	32.6%	11.5%	19.6%	40.1%	16.3%	16.9%
親などが選んで薦めてくれた本	20.6%	6.9%	8.5%	24.9%	8.9%	5.6%
友人などに薦められた	20.0%	21.0%	35.4%	29.8%	30.2%	24.8%
テレビやラジオで紹介している本に興味をもって	9.6%	7.3%	22.7%	12.9%	14.9%	14.0%
その他	5.0%	7.1%	12.1%	10.0%	9.4%	8.1%

また、「どんな内容の本が好きですか」については、各世代共に「まんが(コミック・週刊誌)」が70～80%の高い率で1位となっていますが、「小説(物語・童話)」においては高校生では61.5%、中学生で45.1%、小学生で48.4%となっており、その他「雑誌」や「実用書(趣味・スポーツ)」が好まれている状況となっています。

「どんな内容の本が好きですか」

(複数回答による率/回答者数)

	今回(H22.2月)調査			前回(H16.12月)調査		
	小学生	中学生	高校生	小学生	中学生	高校生
絵 本	23.8%	2.4%	9.5%	53.2%	3.6%	6.8%
小説(物語・童話含む)	48.4%	45.1%	61.5%	43.8%	46.3%	42.5%
ドキュメント・ルポルタージュ(歴史・伝記等)	29.8%	12.1%	15.8%	39.7%	13.2%	9.4%
科学もの(恐竜・病気含)	25.6%	4.2%	8.0%	40.1%	4.2%	4.0%
実用書(趣味・スポーツ)	33.5%	24.6%	22.5%	24.9%	21.7%	20.1%
まんが(コミック・週刊誌含)	73.7%	81.6%	70.9%	29.8%	76.4%	57.1%
雑 誌	29.0%	36.2%	52.7%	12.9%	53.4%	44.5%
その他	5.4%	3.8%	7.6%	10.0%	4.1%	4.6%

(4) 読書の位置づけについて

子どもが「どのようなときに本を読みたくくなりますか」については、「消極的読書」となる「ひまで何もする事がないとき」が各世代1位で、小学生では 75.4%、中学生 72.5%、高校生 60.0%と高い数字となっています。

「自発的読書」では、中学生・高校生ともに2位の「映画やテレビの原作を読みたい」や、第4位の「自分の趣味や研究を深ようと思った」が 20%台から 37%程あり、小学生では「わからないことを調べる(32.5%)」「映画・テレビドラマの原作(28.4%)」「自分の趣味や研究を深めようと思った(24.1%)」の順となり、多様な形で読書が行われている状況がうかがえます。

「どのようなときに本を読みたくくなりますか」

(複数回答による率/回答者数)

	今回(h22.2月)調査			前回(h16.12月)調査		
	小学生	中学生	高校生	小学生	中学生	高校生
わからないことを本で調べる	32.5%	11.1%	14.7%	28.6%	11.7%	11.3%
映画やテレビの原作を読みたい	28.4%	28.7%	37.4%	54.3%	28.4%	27.2%
ひまで何もする事がないとき	75.4%	72.5%	60.0%	31.9%	71.9%	69.0%
病院や床屋などでの待ち時間	51.9%	27.3%	26.9%	34.8%	25.4%	24.4%
困ったことや悩み事があったとき	10.9%	3.6%	4.9%	40.5%	4.5%	4.3%
趣味や研究を深めようと思った	24.1%	22.4%	25.8%	82.9%	17.0%	16.4%
進路・進学・生き方を考える参考	6.5%	2.2%	10.1%	37.5%	5.8%	5.6%
その他	11.1%	9.3%	14.2%	7.9%	11.5%	11.1%

(5) 新しいジャンルでの読書

高校生における携帯電話の普及率は80%といわれ、今回のアンケートでは高校生に対し携帯電話やインターネットでの「携帯小説」についての質問項目を増やし、新たなメディアジャンルでの読書についてアンケートを実施しました。

「携帯電話やインターネットで携帯小説を読んだ事がありますか」の質問に対し、約7割の68.3%が「読んでいる・読んだことがある」と答え、「読んだことがない」は31.7%となり、新たな形態や新たな読書ジャンルでの普及が広がっていることがうかがえます。

高校生への調査結果

読んでいる・読んだことがある	68.3%
読んだことがない	31.7%

3. 乳幼児（就学前の子ども）の読書

（1）読書量について

乳幼児に対し保護者などが 1 ヶ月で本を読んであげている状況は、今回の調査では読書量においては月平均 5.9 冊となり、前回調査の 5.4 冊を 0.5 冊上回り読書量が増えている結果となっていますが、「読んであげていない」の割合が 13.3%と前回調査（5 年前）の 9.8%を 3.5 ポイント上回る結果となっています。

また、「読んであげていない理由」では、「家事や仕事で時間がとれない」が 34.3%と主な理由となっており、前回調査と同様に第 1 位の理由となっています。

「月平均何冊の本を読んであげていますか」			「読んであげていない」理由（複数回答）		
	今回調査	前回調査		今回調査	前回調査
読んであげていない	13.3%	9.8%	本を読むのがきらい	5.7%	0.0%
1 冊～2 冊	31.4%	30.8%	子どもが本を理解する年齢ではない	14.3%	4.5%
3 冊～4 冊	20.1%	30.8%	どんな本を読めば良いかわからない	14.3%	0.0%
5 冊～10 冊	19.7%	12.9%	ほかにやりたいことがある	0.0%	0.0%
10 冊以上	15.5%	15.6%	テレビやビデオで童話など見ている	2.9%	13.6%
			読み聞かせが不得意だから	11.4%	0.0%
			家事や仕事で時間がとれない	34.3%	36.4%
			その他	34.3%	72.7%

（2）読書環境について

「主にどこで本を読んであげていますか」については、「自宅」が 92.4%となり、図書館をはじめ他の場所での読書は数パーセントのみの状況となっています。

また、「本をどのようにして選びますか」では、「書店」が 68.6%、「市の図書館」が 34.8%、「テレビやラジオ・新聞などで紹介している本に興味を持って」が 12.9%となり、書店や図書館が主に本を選ぶ場所となっている事がうかがえます。

「主にどこで本を読んであげていますか」			「本をどのようにして選びますか」		
	今回調査	前回調査		今回調査	前回調査
自分の家で	92.4%	92.9%	書店で選んで買う	68.6%	73.7%
図書館や分庫	5.7%	5.4%	幼稚園・保育園の薦め	8.3%	12.5%
児童館分庫	0.4%	0.0%	市の図書館や分庫	34.8%	39.7%
バスや車	2.7%	1.8%	市の図書館の図書案内など	1.9%	1.3%
その他	8.7%	9.4%	友人などに薦められて	4.9%	3.6%
			テレビやラジオ、新聞などで紹介されている本に興味を持って	12.9%	16.5%
			その他	21.2%	11.2%

(3) 乳幼児を持つ保護者の読書について

乳幼児を持つ保護者自身の読書についての調査では、保護者自身が「月に何冊の本を読みますか」については、「読んでいない」が 48.5%と、約半数の保護者が本を読んでいない状況となっており、「1～2 冊」が 29.4%、「3～4 冊」が 13.4%と続き、「読んでいない理由」では、73.2%の保護者が「子育てや家事に忙しく時間が取れない」を理由としてあげており、次いで「他にやりたいことがある」が 25.2%の結果となっています。

「月に何冊の本を読みますか(保護者自身)」

	今回調査	前回調査
読んでいない	48.5%	34.1%
1 冊～2 冊	29.4%	41.7%
3 冊～4 冊	13.4%	15.7%
5 冊～10 冊	5.0%	6.3%
10 冊以上	3.8%	2.2%

「読んでいない理由」

(複数回答)

	今回調査	前回調査
本を読むのがきらい	8.7%	5.3%
子育てや家事に忙しく時間が取れない	73.2%	75.0%
どんな本がおもしろいかわからない	3.9%	6.6%
他にやりたいことがある	25.2%	19.7%
読みたいと思う本が身近にない	13.4%	15.8%
その他	8.7%	6.6%

(4) 保護者の子どもの読書への意識について

「子どもに読書はどのような効果があると思いますか」との質問に対し、「読書する必要性は感じていない」保護者は 0%となり、「想像力や感性」83.6%、「表現力や創造性」66.0%、「読解力」65.6%、「知識を豊富に」58.4%など、読書への高い意識をもっていることがうかがえます。

「子どもに読書はどのような効果があると思いますか」 (複数回答)

	今回調査	前回調査
想像力や感性を育てる	83.6%	84.4%
表現力や創造性を育てる	66.0%	61.6%
読解力を養う	65.6%	60.7%
知識を豊富にする	58.4%	52.2%
読書する必要性は感じていない	0.0%	0.0%
スポーツや音楽等の習い事のほうが成長に大切	0.8%	0.0%
どのような効果があるかわからない	2.7%	0.9%
その他	2.3%	1.8%

(5) 幼稚園・保育園における読書について

幼稚園・保育園における読書活動及び読書環境等の調査を市内の幼稚園 6 園、保育園 5 園の計 11 園からの協力を得て実施しました。

「読み聞かせの実施」については、調査した 11 園すべての園で 1 日 1 回（1 回以上含む）の読み聞かせが行われ、1 回の実施時間は 15 分以内が主な時間となっています。

また、読み聞かせはほとんどの園では職員が行っていますが、一部、保護者の協力を得ている園が 2 園ありました。

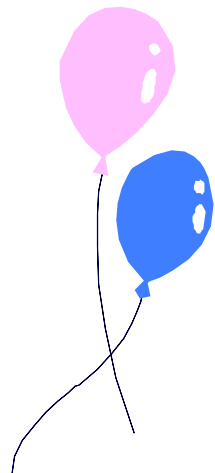
「絵本や紙芝居の保有」については、全園が独自の保有があり、絵本では 200 冊から 2,000 冊と園により保有数に幅があります。

全体では絵本は 8,600 冊、紙芝居では約 3,350 冊の保有があり、全体総数では約 12,000 冊の保有状況となっています。

また、5 年前の保有数との比較では、1 園のみ変わりはありませんでした。他の 10 園では増えている状況となり、絵本・紙芝居合わせて約 1,000 冊の増加となっていますが、「購入費用面などに大変苦慮しながらも購入などを行っている」という意見もありました。

「読み聞かせに使う本」は、園独自で保有している本を利用するほか、「市の図書館から借りている」が約半数の 5 園（45%）あり、その他で「園児の親が用意」している園も一部ありました。

このほか、各園が独自で行っている読書活動や環境の整備では、「園での自由な形で本と親しめるコーナーの設置」や「園で保有している本の園児への貸出」等をはじめ、「日常の中で絵本などに親しめる環境づくり」など工夫した取り組みが行われています。



第3章 第1次子ども読書プラン推進の評価

庁内関係部署による連絡会議及びプラン策定準備会において、第1次「あばしり子ども読書プラン」に基づくこれまでのプラン推進の実施状況やその効果についての検証評価を行いました。

新規事業では、7項目の事業計画のうち「プレママ絵本事業」・「子どもの1日図書館員体験」・「インターネット蔵書検索システムの開設」などの5事業が新たに実施となりましたが、「児童コーナーへのボランティア参加による読書アドバイザーの配置」と「市民の読書活動を生かす場としての図書館づくり」については未実施となっています。

拡充事業では、学校との連携による学校巡回図書の「クリオネ文庫」の小学校全クラスへの配置が完了し、学校関係者からも高い評価を得ています。

「分庫の充実」では児童館を含む2箇所が増設され、「学校図書館の図書の整備」、「ボランティアと図書館が連携した事業の展開」など、19事業の計画のうち15事業で拡充が行われ、地域での読書環境の整備や子どもの読書活動においてボランティアなどと協力した中での幅広い読書活動が繰り広げられました。

しかしながら、「幼稚園や学校の開放などの推進事業」や「司書教諭の配置」などの4事業では拡充としての事業実施がされていない状況となっています。

事業全体では、継続の事業を含め47事業の計画のうち約9割（87.2%）の41事業を実施することができました。

未実施及び拡充がされなかった6事業は、人的要素や施設利用における制約などの理由により未実施等となりましたが、今後の継続した計画としての可否についても検討を要するところです。

これらのことから、今後においても、クリオネ文庫や分庫をはじめ学校図書館などの身近な場所に本があるという環境をより確かなものとして整備・充実を図り、読書の必要性や読書の楽しさがわかるための機会の充実や、学校や幼稚園などで仲間と共に気軽に読書ができる環境の整備や促進が望まれ、取組み状況やその効果について必要に応じて検証していくことも必要です。

年齢を問わず、子どもの読書環境や読書活動においては家庭や各施設などが重要な役割を果たすことから、さまざまな読書に関する情報の提供や、保護者をはじめ地域や教育機関、関係施設、更にはボランティア団体など多くの人や場所が関わりをもち、子どもの読書活動を推進する中で大人も同じく読書が出来る環境づくりを目指すことが望まれます。

第1次あばしり子ども読書プラン計画事業 実施結果一覧

新規計画事業

	主な事業	事業内容	対象	実施主体	事業実績
1	家庭教育学級での読書活動	家庭教育学級等でオススメ図書のリスト配布や読み聞かせなど、子育てと読書の関わりの大さを学習する機会を提供します。	就学前児童 小学生 中学生	社会教育課 図書館	新規実施 (随時実施)
2	プレママクラブ・ハローベビークラブでの読書活動	プレママのための読書紹介や胎教の図書・CDなど出産前の保護者へ子どもとの読書時間の大切さ、音・言葉の大切さを知ってもらう機会を提供。	出産前の親	健康管理課 図書館	新規実施 (年4回開催)
3	児童書コーナーへのボランティア参加による読書アドバイザーの配置	子どもがわかりやすい棚づくりに努め、市民ボランティアが図書館内で子どもに選書アドバイスをします。	市民	図書館	未実施
4	子ども達が図書館の仕事を体験する機会の提供	図書館について理解を深め利用の促進と本への興味を因るため子ども一日図書館司書体験などの事業を開発します。	小学生	図書館	新規実施 (夏休み期間中開催)
5	インターネット蔵書検索システムの開設	図書館ホームページから蔵書検索が可能になるシステムを開発し、様々な場所から図書資料の検索ができるようにします。	市民	図書館	新規実施
6	市民の読書活動を生かす場としての図書館づくり	市民による「私のオススメ図書」を紹介していきます。	市民	図書館	未実施
7	蔵書目録のインターネット公開	自宅や図書館以外でも蔵書が調べられるようインターネットで公開します。	市民	図書館	新規実施

拡充計画事業

	主な事業	事業内容	対象	実施主体	事業実績
1	おすすめ図書の紹介	夏・冬休み前など家庭向けに読書紹介の図書館だよりを発行します。	園児 小・中学生	図書館	拡充実施
2	児童館分庫の充実	児童館に集まる子どもたちが楽しく読書できるよう図書の整備と貸出の充実に努め、地域分庫として親子で読書できるよう一般書の充実を図る。	児童 一般	図書館	拡充実施
3	分庫の充実	身近な読書活動を促進するため地域分庫がより使いやすく親しまれるよう分庫管理者と連携を図る。	市民	図書館	拡充実施 (かつら分庫・こまば分庫)
4	学校への読書活動支援 (クリオネ文庫)	学校での読書活動支援として図書館の図書の学級巡回貸し出しを行います。	小学校	図書館 小学校	拡充実施
5	ボランティアと図書館が連携した事業の展開	ボランティア活動と連携して図書館の機能を活かした事業を推進していきます。	市民	図書館	拡充実施 (各種施設等での活動)
6	障がいを持った子どもの読書活動によるケアの支援	布絵本、エブロンシアターなどで楽しい読書活動により障がいを持った子どもの心のケアに役立てます	幼児	子育て支援課 社会福祉課	拡充実施
7	地域の子どもや保護者への園の開放	休園日の地域開放を促進し読書活動への理解を広めます。	市民	幼稚園	拡充なし
8	絵本などの貸し出し	家庭への貸し出しを実施し家庭との連携を図ります。	幼児	各施設	拡充実施 (一部の施設等で実施)
9	10分間読書の推進	授業前・休み時間など利用し読書活動の普及を図ります。	小・中学校 高校	管理課 北海道	拡充実施
10	PTAや地域ボランティアによる読み聞かせ活動の促進	市内小学校でのPTAや地域ボランティアの協力により読み聞かせ活動や図書室の利用促進を支援します。	小学校	管理課 社会教育課	拡充実施 (学校支援ボランティア)
11	休業日等における学校図書館の地域解放を促進	地域住民の学校図書活動の理解を深め協力体制を得た中で地域開放を進めます。	小学校	管理課	拡充なし
12	市立図書館との連携で読書活動の機会を充実	学校での読書活動支援として図書館の図書の学級巡回を行います。	小学校	図書館	拡充実施 (小学校全クラス実施)
13	司書教諭の配置	司書教諭の配置を行い、学校図書館の利用促進を図ります。	小・中学校	管理課	拡充なし
14	学校図書館の図書の整備	子どものニーズを把握しながら図書の整備を計画的に進めます。	小・中学校 高校	管理課 北海道	拡充実施
15	空き教室を読書活動スペースとしての活用を促進	学校の空き教室を読み聞かせサークルの活動室や生徒の読書活動の利用促進を図る。	小・中学校 高校	管理課 北海道	拡充なし
16	ボランティア活動の支援	ボランティア活動を促進し、学校内での幅広い読書活動に協力します。	市民	教育委員会	拡充実施 (学校支援ボランティア)
17	書店との連絡・連携	書店と図書館、読書活動関連施設が連携しそれぞれが子ども達への優良図書の推奨をPRしていきます。	市民	各課	拡充実施

18	大学図書館との連携	市立図書館と大学図書館の相互貸借ができるよう整備を進めます。	市民	図書館	拡充実施
19	コミュニティセンター（分庫）との連携	地域コミュニティセンターと連携した読書活動の促進を図ります。	市民	図書館	拡充実施

継続計画事業

	主な事業	事業内容	対象	実施主体	事業実績
1	ブックスタート支援 （0歳からのはじめての絵本）	8ヶ月児健康相談時に読み聞かせ絵本のリスト配布や本と出会い、図書館の利用などを学習する機会を提供。	8ヶ月児の保護者	健康管理課 図書館	継続実施
2	子どものへのレファレンスサービスの充実	学校でのしらべもの学習で来館する子どもたちへの学習相談や資料提供の充実に努めます。	小学生	図書館	継続実施
3	読み聞かせ会の開催	図書館内「えほんのもり」で毎週土曜日にボランティアによる読み聞かせ会を開催します。	幼児 小学生	図書館	継続実施
4	子ども読書の日の啓発・広報	子ども読書日に読書活動の啓発事業を企画開催します。	幼児 小学生	図書館	継続実施
5	図書の整備・充実	蔵書の整備充実に努め、大人と子どもの読書の推進を図ります。	市民	図書館	継続実施
6	ボランティア養成講座の実施	読み聞かせなどボランティアサークルのための養成講座を実施し自主的な活動を育成します。また、小中高生の読み聞かせサークルの育成に努めます。	市民	図書館	継続実施
7	図書館ネットワークの充実による資料提供の充実	国会図書館、道立図書館・近隣図書館とのネットワークによる資料提供の充実を図ります。	市民	図書館	継続実施
8	図書館利用者の拡充	図書館まつりなどを開催し、図書館入館者の拡充を図ります。	市民	図書館	継続実施
9	読み聞かせの時間の充実	1日1回、読み聞かせの時間をつくります。	幼児	各施設	継続実施
10	絵本・紙芝居などの図書資料の整備を促進	子どもが楽しんで読むことができる図書の整備を促進します。 図書館の団体貸し出しの利用を促進し読書活動を充実させます。	幼児	各施設	継続実施
11	子育て支援センターでの読書活動の促進	親子の読書活動を支援するため子育て支援センターでの読み聞かせや読書指導を実施する。	乳幼児 保護者	子育て支援課 図書館	継続実施
12	学校図書担当者との連絡・連携	学校図書室と市立図書館の情報交換や協力体制を図るため学校担当者との連絡会議を開催します。	図書館 小・中学校	図書館	継続実施
13	団体貸し出しの利用促進	図書館の団体貸し出しの利用を促進し読書活動を充実させます。	小・中学校 高校	図書館 北海道	継続実施
14	学校図書担当者との連絡・連携	学校図書館と市立図書館の情報交換や協力体制を図るため、また学校間の情報交換の場として連絡会議を開催します。	図書館 小・中学校	図書館	継続実施
15	ボランティア養成講座の実施	読み聞かせなどボランティアサークルのための養成講座を実施して自主的な活動を育成します。	市民	図書館	継続実施
16	魅力ある資料の収集	市民の学習要求や学習課題に対応した図書の収集に努めます。	市民	図書館	継続実施
17	高齢者や障がい者の読書活動支援	高齢者や障がい者への読書サービスに努めます。	市民	図書館	継続実施
18	地域分庫の整備	図書館から遠隔に住む市民のため地域分庫の整備を図ります。	市民	図書館	継続実施
19	団体貸し出しの促進	団体貸し出しを促進し、地域の読書活動を支援します。	市民	図書館	継続実施
20	読書活動のPR促進	市広報へのPR、図書館便り、ホームページ等で読書活動のPRに努めます。	市民	図書館	継続実施
21	読書活動に関する情報提供	読書活動サークルや団体に、国・北海道を始めとする様々な情報を提供しながら活動を支援します。	市民	図書館	継続実施

第4章 子どもの読書活動

推進のための方策

1. 「みんなで読書」

家庭や地域で大人と子どもが共に行う読書の推進を図ります

子どもの読書習慣は、家庭や周囲の環境が大きく影響を及ぼすといわれ、子どものみならず大人も一緒に読書することにより子どもの読書への興味が芽生え育ちます。

家庭や地域で身近な人と共に行う読書は、子育てをはじめ子どもの読書への興味や本とのふれあいの動機づけとして大変重要な役割を果たすことから、市民みんなが子どもの読書を支え推進するという意識を持つなかで、大人も子どもも「みんなで読書が出来る、みんなで読書をしている」という環境づくりと機会の充実が図られていくことが大切です。

現状と課題

乳幼児期での読書活動の推進では、現在「プレママ教室」や「0歳からの初めての絵本」などのブックスタート支援事業（※1）や、図書館や子育て支援センターなどでの「絵本の読み聞かせ会」の開催など、家庭における読書の楽しさや役割などを理解してもらうための各種事業が実施されています。

今回のアンケート調査では、1ヶ月間読み聞かせが行われていない家庭が13.3%あり、親子の信頼や心のふれあいを育むとされる家庭での読書がより多く行われるために、読書の重要性などの理解をより深める機会や、すべての子ども達が本とふれあう機会となるブックスタート支援事業の効果的な実施や充実が望まれます。

また、お母さんなどの保護者の読書では、その約半数が家事や仕事などで自身の読書が出来ない状況とのアンケート結果となっており、保護者に対しても読書を促す啓発が必要と考えられます。

家庭以外の地域には、図書館や書店をはじめ児童館や地域分庫など子どもの読書に関わる施設などがたくさんあります。

家庭や学校などと異なる場所や交わる年齢なども異なる中で、地域の大人や異世代とのふれあいは子どもにとっても大変意義深いことです。

これら地域の読書に関わる施設などが連携や情報交換を行い、子どもの自由な読書を推進するという視点で、読書スペースの確保などの環境整備を進めるとともに、周囲があたたかく子ども読書活動を見守ることも重要なことです。

重点的に実施を行う施策

- ブックスタート支援事業（※1）や子どもの読書の理解を深める機会の充実
- 家庭での読書や読み聞かせの推進
- 子どもが本や物語などとふれあう機会の充実
- 親子による読書活動の推進
- 関係施設や機関などとの連携による家庭での読書への支援
- 地域における読書環境の充実と読書活動の啓発

具体的な主な取組み内容

（ ）は実施主体等

- * 子どもの読書の理解を深める事業の実施（図書館、保健センター）
はじめて子どもを持つ妊婦さんを対象としたプレママ絵本教室の開催。
- * ブックスタート支援事業の充実（図書館、保健センター）
すべての子ども達がはじめて本とふれあうためのブックスタート支援事業の充実。
- * 読み聞かせ会の充実（図書館、子育て支援課、ボランティア団体）
図書館絵本の森や子育て支援センターなどによる読み聞かせ会の実施と充実。
- * 家庭で読書を支援するための各種講習会等の開催（図書館）
家庭での読書を支援するための読み聞かせ講習会や朗読講座の開催。
- * 読書相談・レファレンス（※2）の充実（図書館）
子どもの読書や選書の相談を行う場の充実と、学習支援などのレファレンスの充実。
- * 親子による図書館利用の促進（図書館）
豊かな蔵書の整備・充実に努め、親子による図書館の利用促進。
- * 図書館の利用や読書を行うための情報の提供。（図書館）
学校・幼稚園・保育園などへ各種リーフレット等を利用した情報の提供。
- * 幼稚園や保育園による家庭への読書支援（幼稚園、保育園）
幼稚園や保育園などが家庭での読書を支援するための貸出制度の促進。
- * 家庭教育支援事業との連携と協力（社会教育課、図書館）
家庭教育支援事業による講習会開催などでの連携と協力による家庭での読書活動支援。
- * 児童館・分庫などの読書環境の整備（図書館、子育て支援課、市民課）
児童館や地域分庫施設などにおける読書スペース等の読書環境の充実。
- * 地域の関係施設や団体との連携（図書館）
子どもに関わる施設との連携による、地域での読書活動の啓発。

語句の注釈

※1 ブックスタート支援事業

家庭における子どもの読書活動の推進事業として、保護者に乳幼児期からの絵本とふれあうための機会の提供などを行う事業として、当市においては8ヶ月健診の折に保護者にパンフレットなどにより絵本の紹介等を行っています。

※2 レファレンス

利用者が調べものや学習・研究・調査などで必要な情報や資料などについて、図書館員が検索などを行い必要な情報の回答や資料の提供などを行います。



(H22年5月 子ども読書週間記念事業 「いろいろ劇場」にて)



(H21年5月 子ども読書週間記念事業 「ブレーメンの音楽隊劇団公演」にて)

家庭で行っていきたい読書への取組み

家庭の日常生活での読書は、子どもが読書習慣を身につける最も大切な場所です。親子がともに家庭での読書活動に取り組みましょう。

- ・子どもの手の届くところ、目の届くところにたえず本がある環境を作りましょう。
- ・わずかな時間でも、子どもへの読み聞かせや一緒に本を読む習慣をつけましょう。
- ・お父さんやお母さんが読書に関心をもち、読書に関する色々な行事や講演会・講習会などに親子で参加をしましょう。
- ・一緒に図書館を利用したり、本の感想を話すなど親子で読書の楽しみを見つけましょう。

2. 「楽しく読書」

楽しく読書を行うための機会の充実と読書活動の推進を図ります

子どもは本との出会いから言葉や文字を学び感性や表現力などを培うといわれ、知らない世界や本の登場人物の気持ちを理解するなど読書は子どもたちに多くのことを教えてくれます。

子どもがそれぞれの発達段階において行う読書は人間形成にも大きな影響を与え、読書への興味や関心は、様々な本や物語などとの出会いやふれあいにより生まれ、子ども自らが楽しく読書を行うという気持ちを育てます。

図書館や学校、保育園や幼稚園などが中心となり、楽しく読書を行うための読み聞かせや各種公演などの読書に親しむための機会の充実と、楽しく読書を行うための読書活動の推進を図ることが必要です。

また、これらの活動を推進し支えていただくためにもボランティアの方々との連携や育成などに取り組んでいくことも大切です。

現状と課題

本への親しみや言葉や文字の成長を促すための読み聞かせは、図書館をはじめ各施設などでボランティアの協力を得て定期的に行われています。

幼稚園・保育園では、市内すべての園において毎日の読み聞かせが実施され多くの機会の提供が行われています。

これら機会の継続と、内容や時間などの配慮を行い、より充実した内容で開催されていくことが望まれ、また、それぞれの施設などが独自の立場や環境において、本とのふれあう機会の場をより多く設けて行くことが望まれます。

子ども読書週間などではイベントなどを通じ読書への啓発などが行われています。

幼稚園や保育園児などの保護者や友達が連れ立って参加している状況がうかがわれ、特に乳幼児期においてはこのような各種イベントや読み聞かせ会などを通じて読書への興味や関心を高める事となり、これらの機会の充実と仲間とともに気軽に読書が出来る読書環境を促進することが望まれます。

読書の楽しさは、学習においても大きな興味や関心を持つきっかけとなります。

学校では、ボランティアなどの協力により学校図書館の本の整理や修理等が行われ、また、小学校では学習の一環としての読み聞かせなども行われています。

小中学校では、授業開始前や休み時間などを利用した読書時間を設けたり、一斉読書週間など各学校や学級単位などでの読書活動が行われ、今後更に読書を身につけるためにもこれらの活動の継続と充実が望まれます。

学校図書館や市立図書館においても学習資料とともに魅力ある図書や資料の収集に努め、本への興味や調べものへのアドバイスなどを行うレファレンスやパスファインダー（※3）の充実と、それを受けやすい環境づくりを図ることも大切となります。

高校生の読書では、新たなメディア（携帯電話・インターネット）での読書についてアンケートを実施し、ここでは約7割の高校生が携帯小説を読んだことがある又は

読んでいると答え、携帯小説や電子書籍など今後更に広がりが見込まれる様々な読書の形態についても注視していくことが必要となります。

重点的に実施を行う施策

- 各種行事や公演などを通じて読書に親しむ機会の充実
- 子ども読書週間の充実と子どもの読書活動の啓発
- 読書や学習へのサポートの充実
- 関係施設などへの読書活動支援と啓発事業の充実
- 学校における読書活動の推進
- ボランティア団体などと協力した読書活動の推進

具体的な主な取組み事業

()は実施主体等

- * 各施設等における読み聞かせ時間の充実 (幼稚園、保育園、小学校、図書館等の各施設)
多くの場所や機会での開催と、内容や時間など充実工夫をした読み聞かせの実施。
- * 子ども読書週間や図書館まつりにおける子ども向け行事の充実 (図書館)
本や物語などとふれあう機会の充実と、子どもの読書活動の啓発。
- * レファレンスやパスファインダー (※3) の充実 (図書館)
読書や学習へのサポートの充実を図り、読書への興味と関心を高める環境づくり。
- * 図書館と学校などの教育機関との連携 (図書館、小・中学校、高校、幼稚園 他)
各教育機関との連携の強化と、読書や学習における支援。
- * 学校における読書活動の充実 (小・中学校、高校)
朝の読書、学校読書週間など学校内での読書を行う時間の充実。
- * ふるさと学習支援の活用 (図書館、小学校)
ふるさとに係る学習支援として網走に関する資料の展示等による紹介機会の充実。
- * 団体貸出制度の利活用の促進 (図書館)
各施設などにおける(幼稚園・保育園・学校)豊富な読書活動への支援となるための、図書館における団体貸付制度の利用や活用の促進。
- * ボランティアと協力した読書の普及活動の実施 (図書館)
図書館や各施設におけるボランティアと連携した読み聞かせ会の開催などの実施。
- * ボランティアの育成事業の実施 (図書館)
ボランティア育成のための講習会の開催や資料提供などの支援の実施。
- * 書店などとの連携を深め、紹介陳列などにおける読書の推進啓発 (図書館・書店)

語句の注釈

※3 パスファインダー

テーマなどを調べるために役立つ内容をわかりやすく紹介などしている資料。

3. 「どこでも読書」

身近な場所での読書の環境をつくり読書機会の充実を図ります

子どもがいろいろな場所で本とふれうことは、健やかな子どもの成長において大変重要なことです。

読書への興味や読書習慣を身に付けていくためには、日常的な生活の場所の中で「ここにもあそこにも本がある」、「いつも手の届くところに本がある」という、身近なところで読書とふれあう環境をつくり出していくことが必要です。

保育園や幼稚園、また学校などの毎日通う身近な場所、図書館や分庫・児童館などの地域、書店やスーパー・病院などの街中、また、インターネットや携帯電話など私たちの身の回りには多くの本と出会う機会があります。

これらの多くの場所や機会において読書とふれあう環境をつくり、それぞれの施設が連携を図り、相互の役割の中で子どもへの日常的な読書機会の充実を図って行くことが大切です。

現状と課題

子どもたちが本を読む場所は、小学生では 76%、中学・高校生では約 90%とほとんどが家庭です。

また、読む本を選ぶ場所では、乳幼児・小学生では学校や図書館、書店など多様な場所となっていますが、中学生や高校生では約 7 割が書店で選書し購入しています。

このことから、家庭や地域そして本や読書に関わる施設などが、子どもの読書への理解を深め、それぞれの立場や場所で読書活動へのサポートを進めることが大切なこととなります。

図書館では、資料や蔵書の充実と併せて、多くの人に多くの本に触れてもらう機会となるための季節や話題性等を題材として、幅広い資料の活用による各種の展示紹介などを行い、また、地域での読書の推進や読書環境の充実を図るため、地域分庫 5 か所と児童館分庫 5 か所の計 10 か所の分庫を開設しています。

図書館は、地域の読書活動の中心的施設として、更に蔵書や資料などの充実と併せて自由な読書へのスペースの確保など市民に親しまれる施設として、一層の利用促進に努めていくことが求められます、

小中学校の学校図書館では、平成 21 年度に大きく蔵書整備が進められましたが、今後も更に古い資料の入替えなどを含む蔵書の充実や、本の整理・貸出などでの効率的な蔵書管理の上からも早期の電子化が図られていくことが望まれています。

また、学校での読書活動の推進や学校図書館管理面などにおける司書配置においても専任を含めた中での配置要望などがあります。

小学校では、学校図書館のほかに、市の図書館からクリオネ文庫（※4）として、市内小学校の全クラスへ 30 冊の本の配置が行われ、日常から本とふれあう機会の一つとして高い評価を得ています。

幼稚園や保育園などでは、市内全体で約 12,000 冊の絵本や紙芝居が保有され、それぞれが工夫をしながら本とふれあう機会の充実が図られています。

そのほか、地域には書店等を含め多くの本とふれあう場所があり、これらの施設などが相互の連携を図りながら、家庭を含めより身近な場所に本があるという環境づくりを確かなものとして整備・充実していくことなどが望まれます。

重点的に実施を行う施策

- 魅力ある図書館づくりと各種情報の提供と発信
- 地域や学校における読書環境の整備と充実
- 学校図書館の資料の充実と環境の整備
- 関係機関や施設などとの相互の連携による読書環境の充実

具体的な主な取組み事業

()は実施主体等

- * 図書館における豊かな蔵書の充実と、展示・配架の充実 (図書館)
年代やジャンルにおける豊かな蔵書の充実と、多様な本の紹介などの各種展示の充実。
- * 図書館における各種情報の発信 (図書館)
ホームページや図書館便りなどによる各種情報の発信と読書活動に係る啓発。
- * 地域分庫や児童館分庫の整備と利用の啓発 (図書館、子育て支援課、市民活動課)
分庫における資料の入替え整備や、利用パンフレット作成配布などによる利用の啓発。
- * クリオネ文庫 (学校巡回図書) の充実 (図書館、小学校)
資料の入替えなどによる整備充実や学校巡回図書として活用の促進。
- * 学校図書館の蔵書資料の充実 (教育委員会管理課、小・中学校)
基準による蔵書資料の充足と新たな資料等への入替充実。
- * 学校図書館資料管理の電子化の推進 (教育委員会管理課、小・中学校)
効率的な蔵書管理などを行うためのパソコンなどによる資料の電子化推進。
- * 学校図書館資料の整備の充実 (小・中学校、高校、ボランティア)
ボランティアや図書館などとの連携による学校図書館の資料整備の充実。
- * 幼稚園・保育園などの幼児教育や保育施設との連携 (幼稚園、保育園、図書館 他)
読書に係る情報の提供や交換によりそれぞれの施設での読書環境の整備充実。
- * 関係機関との連携による読書環境の整備 (書店、大学、図書館 他)
書店や大学その他読書に関わる施設との連携による読書環境の整備。

語句の注釈

※4 クリオネ文庫 (学校巡回図書)

図書館の本を小学校の各学級に約 30 冊を配置し毎月単位で教室を巡回させ、学校生活の中で自由により多くの本と親しんでもらうための事業。

参 考 資 料

- ① アンケート結果詳細
(乳幼児の保護者、小学生、中学生、高校生、保育園・幼稚園)
- ② アンケート回答者からの読書活動推進に係る意見及び、
図書館協議会委員による意見
- ③ 子ども読書活動の推進に関する法律
(平成13年12月12日法律第154号制定)
- ④ 策定組織図・策定フローシート
- ⑤ 図書館協議会委員名簿、策定委員会委員(準備会委員を含む)

未就学(乳幼児)の子どもの保護者に対する アンケート集計

- ・調査方法 ①市定期検診(8ヶ月・1歳6ヶ月・3歳)対象の保護者に記載してもらい回収
②保育園児(1園抽出)・幼稚園園児(3園抽出)の保護者に記載してもらい回収
- ・調査期間 平成22年2月1日～2月5日(一部調査日に数日の前後有り)
- ・アンケート回答数 264名(0歳 22名、1歳 33名、2歳 3名、3歳 44名、4歳 57名、5歳 58名、6歳 47名)

1.あなたはお子さんに月平均何冊の本を読んであげていますか	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	合計	率	前回率
1-① 読んでいない	7	2	0	1	7	6	12	35	13.3%	9.8%
1-② 1冊～2冊	10	12	0	16	14	17	14	83	31.4%	30.8%
1-③ 3冊～4冊	4	6	1	6	13	14	9	53	20.1%	30.8%
1-④ 5冊～10冊	1	8	2	10	11	13	7	52	19.7%	12.9%
1-⑤ 11冊以上	0	5	0	11	12	8	5	41	15.5%	15.6%
	22	33	3	44	57	58	47	264	100%	100.0%

2.①の読んでいない理由を教えてください

2-① 本を読むのがきらいだから	0	0	0	0	0	0	2	2	5.7%	0.0%
2-② 子どもが本を理解する年齢ではないと思う	4	0	0	0	0	0	1	5	14.3%	4.5%
2-③ どんな本を読めばいいのかわからないから	3	1	0	0	0	0	1	5	14.3%	0.0%
2-④ ほかにやりたいことがある	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%
2-⑤ テレビやビデオで物語や童話を見させているから	0	0	0	0	1	0	0	1	2.9%	13.6%
2-⑥ 読み聞かせが不得意だから	0	0	0	0	1	2	1	4	11.4%	0.0%
2-⑦ 家事や仕事で時間がとれない	2	0	0	0	2	1	7	12	34.3%	36.4%
2-⑧ その他	1	0	0	1	3	3	4	12	34.3%	72.7%
								35		

3.主にどこで本を読んであげていますか

3-① 自分の家で	18	32	3	42	55	55	39	244	92.4%	92.9%
3-② 図書館や分庫	0	0	0	2	3	4	6	15	5.7%	5.4%
3-③ 児童館分庫	0	1	0	0	0	0	0	1	0.4%	0.0%
3-④ バスや車	0	1	0	2	2	1	1	7	2.7%	1.8%
3-⑤ その他	0	0	1	5	8	5	4	23	8.7%	9.4%
								264		

4.本をどのようにして選びますか

4-① 書店で、選んで買って読む	14	23	2	31	43	38	30	181	68.6%	73.7%
4-② 幼稚園・保育所などから薦められて	0	0	0	5	2	9	6	22	8.3%	12.5%
4-③ 市の図書館や文庫に行って	4	10	1	13	24	21	19	92	34.8%	39.7%
4-④ 市の図書館や図書案内や司書に相談して	0	0	0	0	1	3	1	5	1.9%	1.3%
4-⑤ 友人などに薦められて	1	3	0	2	2	3	2	13	4.9%	3.6%
4-⑥ テレビやラジオ、新聞などで紹介している本に興味を持って	4	3	1	2	12	4	8	34	12.9%	16.5%
4-⑦ その他	4	10	1	10	10	11	10	56	21.2%	11.2%
								264		

5.あなた自身は月何冊平均の本を読みますか

5-① 読んでいない	13	17	0	23	24	24	26	127	48.5%	34.1%
5-② 1冊～2冊	7	10	1	8	21	19	11	77	29.4%	41.7%
5-③ 3冊～4冊	1	4	2	7	9	5	7	35	13.4%	15.7%
5-④ 5冊～10冊	1	1	0	3	3	5	0	13	5.0%	6.3%
5-⑤ 11冊	0	1	0	1	1	4	3	10	3.8%	2.2%
								262		

6.①の呼んでいない理由を教えてください

6-① 本を読むのがきらいだ	1	3	0	0	3	2	2	11	8.7%	5.3%
6-② 子育てや家事に忙しく時間が取れない	12	7	0	18	20	15	21	93	73.2%	75.0%
6-③ どんな本がおもしろいかわからない	0	0	0	2	0	2	1	5	3.9%	6.6%
6-④ ほかにやりたい事がある	4	6	0	3	5	9	5	32	25.2%	19.7%
6-⑤ 読みたいと思う本が身近にない	2	3	0	4	1	3	4	17	13.4%	15.8%
6-⑥ その他	1	1	0	0	2	3	4	11	8.7%	6.6%
								127		

7.子どもの成長に読書はどのような効果あると思いますか

7-① 想像力や感性を育てる	19	27	2	38	48	48	37	219	83.6%	84.4%
7-② 表現力や創造性を育てる	11	23	2	32	39	36	30	173	66.0%	61.6%
7-③ 読解力を養う	15	21	1	20	39	39	37	172	65.6%	60.7%
7-④ 知識を豊富にする	13	16	3	19	42	33	27	153	58.4%	52.2%
7-⑤ 読書する必要性は感じていない	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%
7-⑥ スポーツや音楽などの習い事のほうが成長に大切	0	1	0	0	0	1	0	2	0.8%	0.0%
7-⑦ どのような効果があるかわからない	1	2	0	0	1	1	2	7	2.7%	0.9%
7-⑧ その他	1	0	1	1	0	2	1	6	2.3%	1.8%
								264		

8.お様がテレビやビデオを見る1日平均の時間

8-① 1時間以内	9	15	1	9	10	6	4	54	20.5%	14.7%
8-② 2時間程度	6	12	1	16	21	19	26	101	38.4%	40.0%
8-③ 3時間程度	3	3	0	12	17	17	10	62	23.6%	28.9%
8-④ 3時間以上	1	2	1	5	10	17	7	43	16.3%	16.0%
8-⑤ 見せていない	2	1	0	0	0	0	0	3	1.1%	0.4%
								263		

幼稚園・保育園への アンケート集計

・調査方法 ①市内の幼稚園・保育園

②個別調査票による記載調査。

・調査期間 平成22年2月1日～2月5日（一部調査日に数日の前後有り）

・アンケート回答数 11園（幼稚園 6園、保育園 5園）

園1	園2	園3	園4	園5	園6	園7	園8	園9	園10	園11	計	率	前回調査
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	---	---	------

1. 貴園では「よみきかせ」の時間をとっていますか

1-① とっている	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11	100%	100%
1-② とっていない(問6へ)											0	0%	0%

2. どのくらいの回数で行っていますか。

2-① 1日1回(1回以上)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11	100%	89%
2-② 1週間に数回程度											0		11%
2-③ 1ヶ月に数回程度											0		
2-④ 1年間に数回程度											0		
2-⑤ 不定期的に											0		

3. 1回の時間はどのくらいですか

3-① 15分以内	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11	100%	100%
3-② 30分以内											0		11%
3-③ 1時間以内											0		
3-④ お迎えの時間など時間は決めていない。						1					1	9%	22%

4. 「よみきかせ」はどなたが行っていますか

4-① 職員	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11	100%	100%
4-② 保護者		1			1						2	18%	44%
4-③ ボランティア											0		
4-④ その他											0		22%

5. よみきかせに必要な本はどのように確保していますか

5-① 園で購入	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11	100%	100%
5-② 図書館から借りる			1	1			1			1	5	45%	44%
5-③ 園児の親が用意する					1						1	9%	0%
5-④ その他		1									1	9%	22%

6. よみきかせ以外の読書活動をおこなっている場合内容をおきかせください

- ・自由遊びの時など、コーナーを作っているため自分で本を選び座って読んでいます。
- ・日常の保育で子ども達が自由に見たり読んだりしています。
- ・昼食後、お腹休めとして、保育室にある好きな本を自分で選び読んでいます。
- ・園児が自分で(3歳以上)本を読めるように保育士が得選んだ本を置いている。
- ・朝の自由遊びの時に絵本の時間を設けたり、各クラス週1回絵本の日を設け先生が読みます。
- ・園の図書を希望者に貸出し、おうちで親子の読書の時間がとれる様にし、いろいろな絵本を子どもが自由に選んでいける様にしている。(1日1冊、返却日は決めていない。)
- ・月に1回絵本の貸出。
- ・園の絵本の貸出。

7. 貴園でよみきかせや読書活動を進める上で問題となることはありますか。
 また、日頃子どもの読書についてのお考えがありましたらお聞かせください。
- ・図書費の捻出問題。
 - ・絵本を身近な楽しい事としていく事。絵本は読んであげるもの。
 - ・いつでも気軽に絵本を見る事が出来る環境づくりを心がけています。
 - ・子ども達が集中して楽しめるように指導しています。
 - ・最近は大絵本も購入するが、収納場所に苦心している。

新たな質問項目

園1	園2	園3	園4	園5	園6	園7	園8	園9	園10	園11	計	率
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	---	---

8. 貴園では絵本・紙芝居を保有していますか。

8-① 保有していない												0	0%
8-② 保有している	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11	100%

9. 保有している概ねの冊数

9-① 絵本	700	1,000	1,200	1,150	2,000	200	400	600	250	700	400	8,600
9-② 紙芝居	400	600		365	400	150	380	100	150	500	300	3,345

10. 保有数について5年前と比較しての増減はありますか。

10-① 変わらない			1									1	9%
10-② 減っている												0	0%
10-③ 増えている	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	10	91%
10-③-1 増えたさ冊数 絵本	450	80		50	50		100	100	80		40	950	
10-③-② 紙芝居				30								30	

小学生への アンケート集計

- ・調査方法 ①市内小学校 1年～6年 全クラス
②各クラスでの挙手方式によるアンケート調査。
- ・調査期間 平成22年2月1日～2月5日（一部調査日に数日の前後有り）
- ・アンケート回答数 1,895名（1年282名、2年319名、3年321名、4年314名、5年335名、6年324名）

1.あなたは、1ヶ月平均何冊の本を読みますか	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	率	前回数
1-① 読んでいない	26	32	27	9	36	25	155	8.2%	12.0%
1-② 1冊～2冊	55	83	77	95	99	123	532	28.1%	25.6%
1-③ 3冊～4冊	43	45	89	72	49	64	362	19.1%	18.3%
1-④ 5冊～10冊	66	73	75	72	54	44	384	20.3%	20.0%
1-⑤ 11冊以上	92	86	53	66	57	68	422	22.3%	22.5%
	282	319	321	314	335	324	1,895	100.0%	100.0%

2.①の読んでいない理由を教えてください									
2-① 本を読むのがきらいだから	7	3	15	4	10	12	51	32.9%	25.1%
2-② 勉強や習い事、塾などが忙しく読む時間がない	5	4	3	1	9	7	29	18.7%	13.3%
2-③ どんな本を読めばいいのかわからないから	5	17	10	1	11	9	53	34.2%	22.8%
2-④ ほかにやりたいことがある	4	15	12	4	18	16	69	44.5%	49.0%
2-⑤ 読みたいと思う本が身近にない	5	8	2	1	12	14	42	27.1%	38.0%
2-⑥ その他	2	0	0	0	6	0	8	5.2%	0.0%
							155		100.0%

3.主にどこで本を読みますか									
3-① 自分の家で	172	230	235	245	226	345	1,453	76.7%	80.4%
3-② 学校の図書館や教室	168	199	212	168	117	157	1,021	53.9%	57.7%
3-③ 友達の家で	37	29	42	24	33	51	216	11.4%	19.8%
3-④ 市の図書館で	84	122	92	99	38	53	488	25.8%	36.5%
3-⑤ 児童館の分庫で	62	61	38	29	4	8	202	10.7%	15.2%
3-⑥ バスや車の中	7	15	18	23	9	8	80	4.2%	11.2%
3-⑦ その他	8	29	25	14	24	6	106	5.6%	13.0%
							1,895		

4.本をどのようにして選びますか									
4-① 書店で、選んで買って読む	109	111	145	182	173	235	955	50.4%	53.2%
4-② 学校の図書室にある本を選んで読む	123	146	126	133	119	77	724	38.2%	43.8%
4-③ 教室にある本を選んで読む	182	182	173	148	65	112	862	45.5%	39.7%
4-④ 市の図書館や分庫に行き選んで借りて読む	109	131	110	123	54	90	617	32.6%	40.1%
4-⑤ 親などが選んですすめた本を読む	71	71	73	71	51	54	391	20.6%	24.9%
4-⑥ 友人などに薦められて	62	76	61	66	50	64	379	20.0%	29.8%
4-⑦ テレビやラジオで紹介している本に興味を持って	32	48	43	29	9	21	182	9.6%	12.9%
4-⑧ その他	23	19	26	12	5	9	94	5.0%	10.0%
							1,895		100.0%

5.どんな内容の本が好きですか									
5-① 絵本	125	147	84	59	16	20	451	23.8%	53.2%
5-② 小説(物語、童話など)	98	140	154	180	151	194	917	48.4%	43.8%
5-③ ドキュメント・ルポタージュ(本当の話・歴史・伝記)	46	109	115	128	83	84	565	29.8%	39.7%
5-④ 科学もの(恐竜・病気などを含む)	92	140	109	85	28	31	485	25.6%	40.1%
5-⑤ 実用書(趣味・スポーツなど)	65	135	124	121	81	109	635	33.5%	24.9%
5-⑥ まんが(コミック・週刊誌などを含む)	179	244	221	260	222	271	1,397	73.7%	29.8%
5-⑦ 雑誌	36	72	100	123	109	110	550	29.0%	12.9%
5-⑧ その他	9	31	16	30	7	10	103	5.4%	10.0%
							1,895		

6.あなたは、どういうときに本を読みたいと思いますか									
6-① わからないことがあって本で調べようと思った	85	161	112	113	86	58	615	32.5%	28.6%
6-② 映画やテレビドラマの原作を読みたいと思った	75	123	90	102	74	75	539	28.4%	54.3%
6-③ ひまでも何することがないとき	189	258	250	253	212	266	1,428	75.4%	31.9%
6-④ 病院や床屋などで待ち時間があるとき	94	196	161	223	148	162	984	51.9%	34.8%
6-⑤ 困ったことや悩み事などがあったとき	34	68	36	31	23	7	199	10.5%	40.5%
6-⑥ 自分の趣味や研究を深めようと思った	56	111	88	97	46	58	456	24.1%	82.9%
6-⑦ 進路・進学・生き方を考える参考に	23	32	32	17	5	14	123	6.5%	37.5%
6-⑧ その他	14	22	42	32	45	56	211	11.1%	7.9%
							1,895		100.0%

中学生への アンケート集計

- ・調査方法 ①市内中学校 1年～3年 全クラス
②各クラスでの挙手方式によるアンケート調査。
- ・調査期間 平成22年2月1日～2月5日(一部調査日に数日の前後有り)
- ・アンケート回答数 495名(1年161名、2年161名、3年173名)

1.あなたは、1ヶ月平均何冊の本を読みますか	1年	2年	3年	合計	率	前回数
1-① 読んでいない	34	19	20	73	14.7%	22.7%
1-② 1冊～2冊	79	76	42	197	39.8%	35.1%
1-③ 3冊～4冊	24	29	30	83	16.8%	14.1%
1-④ 5冊～10冊	15	22	22	59	11.9%	13.6%
1-⑤ 11冊以上	9	15	59	83	16.8%	14.6%
	161	161	173	495	100.0%	100.0%

2.①の読んでいない理由を教えてください

2-① 本を読むのがきらいだから	6	5	2	13	17.8%	10.4%
2-② 勉強や習い事、塾などが忙しく読む時間がない	8	4	0	12	16.4%	14.4%
2-③ どんな本を読めばいいのかわからないから	1	1	4	6	8.2%	59.9%
2-④ ほかにやりたいことがある	23	10	9	42	57.5%	27.0%
2-⑤ 読みたいと思う本が身近にない	7	3	4	14	19.2%	18.9%
2-⑥ その他	0	0	0	0	0.0%	0.0%
				73		

3.主にどこで本を読みますか

3-① 自分の家で	151	150	148	449	90.7%	25.7%
3-② 学校の図書館や教室	36	19	16	71	14.3%	11.5%
3-③ 友達の家で	21	17	27	65	13.1%	7.0%
3-④ 市の図書館で	16	7	9	32	6.5%	0.6%
3-⑤ 児童館の分庫で	1	0	0	1	0.2%	2.4%
3-⑥ バスや汽車の中	15	6	6	27	5.5%	6.3%
3-⑦ その他	5	11	10	26	5.3%	79.9%
				495		

4.本をどのようにして選びますか

4-① 書店で、選んで買って読む	121	116	115	352	71.1%	61.5%
4-② 学校の図書室にある本を選んで読む	29	20	18	67	13.5%	8.1%
4-③ 教室にある本を選んで読む	3	0	2	5	1.0%	0.9%
4-④ 市の図書館や分庫に行き選んで借りて読む	20	20	17	57	11.5%	16.3%
4-⑤ 親などが選んですすめた本を読む	16	13	5	34	6.9%	8.9%
4-⑥ 友人などに薦められて	33	38	33	104	21.0%	30.2%
4-⑦ テレビやラジオで紹介している本に興味を持って	11	19	6	36	7.3%	14.9%
4-⑧ その他	13	5	17	35	7.1%	9.4%
				495		

5.どんな内容の本が好きですか

5-① 絵本	6	3	3	12	2.4%	3.6%
5-② 小説(物語、童話など)	94	70	59	223	45.1%	46.3%
5-③ ドキュメント・ルポタージュ(本当の話・歴史・伝記)	36	13	11	60	12.1%	13.2%
5-④ 科学もの(恐竜・病気などを含む)	9	8	4	21	4.2%	4.2%
5-⑤ 実用書(趣味・スポーツなど)	58	40	24	122	24.6%	21.7%
5-⑥ まんが(コミック・週刊誌などを含む)	141	131	132	404	81.6%	76.4%
5-⑦ 雑誌	47	55	77	179	36.2%	53.4%
5-⑧ その他	9	0	10	19	3.8%	4.1%
				495		

6.あなたは、どういうときに本を読みたいと思いますか

6-① わからないことがあって本で調べようと思った	26	19	10	55	11.1%	11.7%
6-② 映画やテレビドラマの原作を読みたいと思った	58	40	44	142	28.7%	28.4%
6-③ ひまで何もすることがないとき	124	123	112	359	72.5%	71.9%
6-④ 病院や床屋などで待ち時間があるとき	50	36	49	135	27.3%	25.4%
6-⑤ 困ったことや悩み事などがあつたとき	12	4	2	18	3.6%	4.5%
6-⑥ 自分の趣味や研究を深めようと思った	45	35	31	111	22.4%	17.0%
6-⑦ 進路・進学・生き方を考える参考に	5	3	3	11	2.2%	5.8%
6-⑧ その他	9	7	30	46	9.3%	11.5%
				495		

高校生への アンケート集計

- ・調査方法 ①市内高等学校 1年～3年（クラス一部抽出、3年生の一部）
②アンケート用紙配布による個別記載調査。
- ・調査期間 平成22年2月1日～2月5日（一部調査日に数日の前後有り）
- ・アンケート回答数 577名（1年250名、2年250名、3年77名）

1.あなたは、1ヶ月平均何冊の本を読みますか	1年	2年	3年	合計	率	前回数
1-① 読んでいない	114	107	41	262	45.4%	15.0%
1-② 1冊～2冊	94	96	24	214	37.1%	37.2%
1-③ 3冊～4冊	21	21	8	50	8.7%	16.0%
1-④ 5冊～10冊	10	15	0	25	4.3%	19.9%
1-⑤ 11冊以上	11	11	4	26	4.5%	11.9%
	250	250	77	577	100.0%	100.0%

2.①の読んでいない理由を教えてください	1年	2年	3年	合計	率	前回数
2-① 本を読むのがきらいだから	16	17	7	40	15.3%	22.2%
2-② 勉強や習い事、塾などが忙しく読む時間がない	30	34	6	70	26.7%	36.6%
2-③ どんな本を読めばいいのかわからないから	9	3	7	19	7.3%	8.5%
2-④ ほかにやりたいことがある	68	57	18	143	54.6%	45.8%
2-⑤ 読みたいと思う本が身近にない	25	42	22	89	34.0%	34.6%
2-⑥ その他	7	4	4	15	5.7%	0.0%
				262		

3.主にどこで本を読みますか	1年	2年	3年	合計	率	前回数
3-① 自分の家で	227	230	69	526	91.2%	74.2%
3-② 学校の図書館や教室	26	30	14	70	12.1%	9.5%
3-③ 友達の家で	10	24	7	41	7.1%	10.8%
3-④ 市の図書館で	18	22	8	48	8.3%	7.9%
3-⑤ 児童館の分庫で	1	0	0	1	0.2%	0.3%
3-⑥ バスや汽車の中	40	26	14	80	13.9%	8.9%
3-⑦ その他	12	14	3	29	5.0%	11.6%
				577		

4.本をどのようにして選びますか	1年	2年	3年	合計	率	前回数
4-① 書店で、選んで買って読む	180	175	56	411	71.2%	54.0%
4-② 学校の図書室にある本を選んで読む	27	24	9	60	10.4%	4.8%
4-③ 教室にある本を選んで読む	3	2	0	5	0.9%	0.2%
4-④ 市の図書館や分庫に行き選んで借りて読む	57	40	16	113	19.6%	16.9%
4-⑤ 親などが選んですすめてくれた本を読む	31	16	2	49	8.5%	5.6%
4-⑥ 友人などに薦められて	76	94	34	204	35.4%	24.8%
4-⑦ テレビやラジオで紹介している本に興味を持って	50	63	18	131	22.7%	14.0%
4-⑧ その他	23	39	8	70	12.1%	8.1%
				577		

5.どんな内容の本が好きですか	1年	2年	3年	合計	率	前回数
5-① 絵本	19	22	14	55	9.5%	6.8%
5-② 小説（物語、童話など）	159	150	46	355	61.5%	42.5%
5-③ ドキュメント・ルポタージュ（本当の話・歴史・伝記）	42	38	11	91	15.8%	9.4%
5-④ 科学もの（恐竜・病気などを含む）	23	19	4	46	8.0%	4.0%
5-⑤ 実用書（趣味・スポーツなど）	54	61	15	130	22.5%	20.1%
5-⑥ まんが（コミック・週刊誌などを含む）	178	176	55	409	70.9%	57.1%
5-⑦ 雑誌	124	135	45	304	52.7%	44.5%
5-⑧ その他	19	17	8	44	7.6%	4.6%
				577		

6.あなたは、どういうときに本を読みたいと思いますか	1年	2年	3年	合計	率	前回数
6-① わからないことがあって本で調べようと思った	41	28	16	85	14.7%	11.3%
6-② 映画やテレビドラマの原作を読みたいと思った	103	88	25	216	37.4%	27.2%
6-③ ひまで何もすることがないとき	152	144	50	346	60.0%	69.0%
6-④ 病院や床屋などで待ち時間があるとき	71	64	20	155	26.9%	24.4%
6-⑤ 困ったことや悩み事などがあつたとき	9	9	10	28	4.9%	4.3%
6-⑥ 自分の趣味や研究を深めようと思った	55	74	20	149	25.8%	16.4%
6-⑦ 進路・進学・生き方を考える参考に	25	23	10	58	10.1%	5.6%
6-⑧ その他	30	40	12	82	14.2%	11.1%
				577		

7.あなたは、携帯電話やインターネットで携帯小説を読んだことがありますか	1年	2年	3年	合計	率
7-① 読んでいる・読んだことがある	160	158	57	375	68.3%
7-② 読んだ事がない	71	86	17	174	31.7%
				549	100.0%

子どもの読書活動の推進に係る意見など(実施アンケートより抜粋)

※ 幼稚園・保育園

- ・園の予算も厳しく、補助金削減のため絵本の購入も難しくなっています。 団体貸出などあるといい。
- ・絵本の紹介をしたり、園の文庫があると楽しいかと考えます。(他園で行っているので今後考えたいと思っています。)

※ 乳幼児保護者

- ・頭でわかっているがなかなか実行に移れない。 親の自分が本を読む習慣がないので難しい。
- ・子どもの読み聞かせはとても大事だと思います。 ですが、本の面白さを一番子供に教えるのは親が本を読むことが好きで楽しいと言うようになれば、自然に興味を持つと思います。
- あと、字を書いていない絵だけの絵本を見ながら、物語を作っていくと子供の表現がとても素晴らしいと気づく時もあると思います。
- ・親が教えられることは限りがあります。 だから本は最高の先生です。
- 娘の知りたい気持ちを大切に育ててくれる本。想像力や感性、そして知識を豊富にしてくれる本、家庭でも読書できる環境作りに心がけています。
- 身近に本がある、どこの部屋にも本がある、親も一緒に本を読む、広いジャンルで本を買う、子供の本は年に100冊程購入、しかも完全読破し、年齢にとらわれず漢字びっしりの本もどんどん読ませます。
- ・子供のために図書館へ行くようになり自分もよく本を読むようになりました。
- ・1ヶ月に何冊読むかより、気に入った本を繰り返し読んだり、読み方が大事だと思います。
- ・1歳や2歳の小さい子供は本のページを破りってしまうことが多いので、紙が厚いなどやぶれない紙質の本があったらいいと思う。
- ・図書館に行く機会が多くないので、保育園や家庭での読書のすすめ方を教えていただきたい。
- ・絵本は大好きなので、おすすめの本を図書館に貼り出したり、新聞や広報等に乗せてもらいたい。
- ・おすすめの絵本などのお知らせのようなチラシなどを配ってくれたら、本を選ぶヒントになると思います。
- ・図書館で本を借りる際に本の内容がわかりやすく説明してあると、はじめての絵本でも借りやすい。
- ・子供の年齢や学年別に分かりやすく本の区分をしてほしい。
- ・もっとたくさんの本の宣伝をしたほうがいいと思います。 年齢や月齢にあった本がわからない人が多いと思います。
- ・幼稚園の、週に一度、子供が本を1冊選んで持ち帰り、家で読むという活動はとてもよいと思います。
- 親の好みで読書から縁遠い生活をしている子供もいるので。
- ・各幼稚園などに移動図書館として来てくれると良いですね。
- ・以前住んでいた地域では、週1~2度車での移動図書館があったのですが網走は無いのでしょうか。
- (学校・幼稚園・病院・各自治会等にきていました。)

・移動図書館等があったらもっと本を借りやすくなると思います。
・図書館は下だけでなく、上の駒場や潮見地区方面にもあると良いなと思います。
本はたくさん見たいし、見せたいけど下の町まで行くのは大変です。
・貸出に郵送が出来ると良い。(TeL等で注文し自宅へ届く等)
返却はエコセンターのみでなく、近郊のコミセンや市役所等で出来ると、なお借りやすい。
・子供の読書活動を推進するのなら、祝日は図書館を必ず開けてほしい。
・図書館を子供ともども良く利用しています。他の地域の4~5の図書館を利用したことがありますが、網走の図書館は、読みたい本があり、きれいに整理され、本もとりにやすく、1番好きです。
土曜日の読み聞かせは、ぜひ午前中にしてほしいです。強く要望します。
・上の子の小学校入学説明会で、校長先生より「読み聞かせのすすめ」があり実践してきました。
私が出来ないときは、兄ちゃんが弟に読んであげています。
・読み聞かせに行きたいが午後2時からちょうど昼寝の時間。4歳の上の子も結局1回も行けませんでした。午前中にしてほしいです。そう思っているお母さんはたくさんいると思います。お願いします。
・家庭・幼稚園・保育園で子供から読書できる出来る時間を作った習慣化。
図書館等での読み聞かせの時間をもっと増やしてほしい。
・読み聞かせも大事だけれど、「語り聞かせ」もとても意義があると聞いたことがあります。
内容をおぼえるのが大変なので、おぼえやすい本を紹介したり、聞ける場所などがあると良い。

※ 小学校・中学校
・クリオネ文庫が子供たちの楽しみになっています。今後もよろしくお願いします。
・学校図書館を子供が足を運びたい魅力的なものにしたい。そのために、「常駐する司書の配置」「読みたい本の場所をパソコンで検索できる」、「古い本の廃棄を進め新しい本を紹介する」、子供からも強い要望があがっています。
・クリオネ文庫が各クラスに配置されとても助かっています。
歴史・スポーツ等の本や雑誌は人気があり、話題の本が学校ですぐ読めるようになるとうれしい。
・(子供意見) クリオネ文庫の本をもっと増やしてほしい。「かいけつゾロリやこわい話」を読みたい。
色々な本を増やしてほしい。学校にも図書館の本を置いてある場所を作ってほしい。(子供が歩いて本を読める場所・借りに行ける場所がほしい。)
・高学年のクリオネ文庫活用させてもらっています。ありがとうございます。

※ 高校生
・週刊マンガをおいて。（複数件）
・ビデオもっと種類増やしてください。
・新刊書コーナーがあったらいい
・閉架からの本は借りづらい。
・最近の本に良書がない。図書館が遠いので、移動図書館来たらいい。
・どこの場所にこういう本があるのをわかりやすくしてほしい。
・携帯小説はいまいち
・携帯小説は文学として扱ってはいけないと思います。
・特になにもしなくて良い。
・図書館はいつもきれいだ。
・おちついてよい環境だと思う。
・図書館がうるさい。

（記載内容にのっとり、語尾や一部表現等を変えて掲載している場合があります。）

図書館協議会による意見

（意見を要約して掲載しています。）

図書館協議会委員からの意見
・図書館と学校の連携で、小・中学校と図書館の連携会議実施時に高校も加わり連携を行うと良いと思う。
・全道でも1番古い図書館として、読書を広げることに本腰を入れていくことが望まれる。
・電子書籍の普及への動向に注視しながら、図書館での電子書籍を閲覧できる機会など体験的な意味を含めて市民提供を行う設備（機器）があっても良いのではないかな。
・幼児向け本棚について、年齢別でのお薦め展示や、絵本の作家ごと展示（よく読まれている人気作家の一部）など利用者の目線に立った展示や配本が必要。
・網走の図書館として、どういう特色をもつかなどを明確にして行くことが必要と思う。
・学校の図書館においては、本の購入予算の取扱いからも学校では学習用資料を優先して購入して行くことから、クリオネ文庫は日常の読書時間（朝の読書など）での活用など重要な位置付けとして、今後も継続した実施の中で、学校における日常的な読書活動の推進が必要。
・学校図書館での専任司書配置が望まれるところだが現状は難しいと思われ、PTAや地域ボランティアが本の修理等を含めて多くの協力をしていただいている。
学校ボランティアなどに対する、本の修理講習会なども考慮すると良いのではないかな。
・図書館での、レファレンスや調べ物についてはカウンター業務が優先され、来館者がレファレンス等を受けやすい環境作りとして案内の仕方や人員配置などについても考慮が必要と思う。

子どもの読書活動の推進に関する法律
平成 13 年 12 月 12 日 法律第 154 号制定

第 1 条（目的） この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

第 2 条（基本理念） 子ども（おおむね 18 歳以下の者をいう。以下同じ）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

第 3 条（国の責務） 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

第 4 条（地方公共団体の責務） 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

第 5 条（事業者の努力） 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

第 6 条（保護者の役割） 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

第 7 条（関係機関等との連携強化） 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

第 8 条（子ども読書活動推進基本計画） 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

第 9 条（都道府県子ども読書活動推進計画等） 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

第 10 条（子ども読書の日） 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、4 月 23 日とする。

3 国及び地方公共団体は、子どもの読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

第 11 条（財政上の措置等） 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

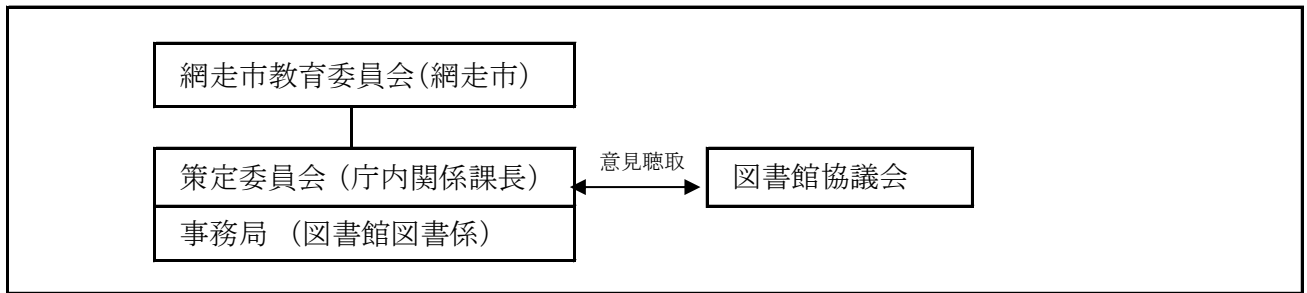
この法律は、公布の日から施行する。

子どもの読書活動の推進に関する法律に対する附帯決議

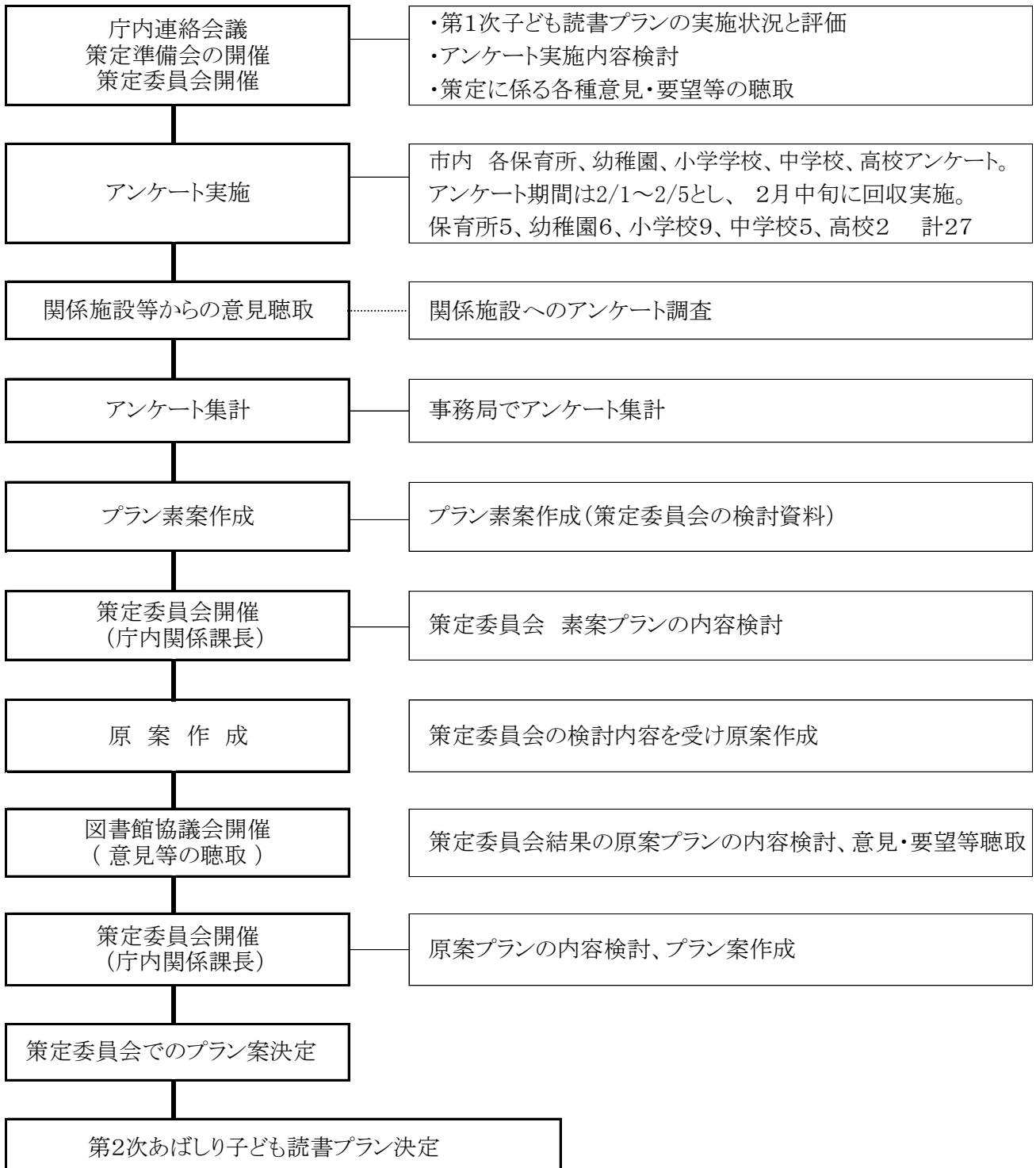
政府は、本法施行に当たり、次の事項について配慮すべきである。

- 1 本法は、子どもの自主的な読書活動が推進されるよう必要な施策を講じて環境を整備していくものであり、行政が不当に干渉することのないようにすること。
- 2 民意を反映し、子ども読書活動推進基本計画を速やかに策定し、子どもの読書活動の推進に関する施策の確立とその具体化に努めること。
- 3 子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、本と親しみ、本を楽しむことができる環境づくりのため、学校図書館、公共図書館等の整備充実に努めること。
- 4 学校図書館、公共図書館等が図書を購入するに当たっては、その自主性を尊重すること。
- 5 子どもの健やかな成長に資する書籍等については、事業者がそれぞれの自主的判断に基づき提供に努めるようにすること。
- 6 国及び地方公共団体が実施する子ども読書の日趣旨にふさわしい事業への子どもの参加については、その自主性を尊重すること。

策 定 組 織 図



策 定 フ ロ ー シ ー ト



第2次「あばしり子ども読書プラン」策定委員会設置要項

(設置)

第1条 本市における子どもの読書活動の推進にむけて、第2次の子ども読書プランを策定するため、「あばしり子ども読書プラン策定委員会」(以下「策定委員会」という。)を設置する。

(任務)

第2条 策定委員会は、網走市子どもの読書活動の推進について、関係機関等の意見・要望を聴取し第2次のあばしり子ども読書プランを策定する。

(組織)

第3条 策定委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって組織する。

2 委員長は社会教育部長とし、副委員長は図書館長とする。

3 委員は、別表1に掲げる職にある者をもって充てる。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員長は、策定委員会を総括する。

2 副委員長は委員長を補佐し、委員長事故あるときは職務を代理する。

(会議)

第5条 策定委員会の会議は委員長が必要に応じて招集し、委員長を議長とする。

2 委員長は、必要があると認められたときは、委員以外の者の出席又は意見を求めることができる。

3 策定委員会は、プラン策定にあたって網走市図書館協議会の意見を聴くものとする。

(庶務)

第6条 策定委員会の庶務は、社会教育部図書館図書係において処理する。

(補足)

第7条 この要項に定めるもののほか、策定委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が定める。

附則 この要項は、平成22年1月15日から施行する。

網走市図書館協議会委員名簿

	氏 名	所 属	備 考
会 長	元 角 文 雄	あばしり市立図書館友の会	
副会長	川 尻 秀 一	あばしりまなび塾推進運営協議会	
委員	牧 野 善 光	網走市小中学校校長会	
委員	安 孫 真 弓	網走PTA連合会	
委員	梶 川 優 子	網走市女性学級連絡協議会	
委員	益 村 真	ケアサポートますむら	
委員	中 村 富美枝	未夢の会	
委員	佐 藤 恵	市民公募	
委員	本 間 公 三	市民公募	
委員	疋 田 義 久	市民公募	

第2次「あばしり子ども読書プラン」 策定委員会 委員

	部 署	備 考	策定準備会委員
委員長	社会教育部長		社会教育部長
副委員長	図書館長		図書館長
委員	子育て支援課長		こども家庭係長
委員	社会福祉課長		障害福祉係長
委員	健康管理課長		保健指導係長
委員	社会教育課長		生涯学習係長
委員	教育委員会 管理課長		庶務係長
			管理係長
事務局	図書館 図書係	係長・主事・司書	図書館 図書係

.....

おわりに

計画推進にむけて

この計画は、国、道、市、関係団体の協力・連携を図るとともに、市民ボランティアによる細やかでかつ広がりのある読書活動を重視しながら推進していきます。

本計画を効果的に推進するため、子どもの読書活動推進のための庁内連絡会議を開催し、計画の進捗状況などの把握をするなかで事業の継続的な進行管理を行うとともに、必要に応じて計画の見直しなどを行っていきます。

あばしり子ども読書プランⅡ
網走市子どもの読書推進計画Ⅱ 2010－2014

平成22年7月 発行

発行・編集 網走市教育委員会